

2018年度 事業報告書

公益財団法人 トトロのふるさと基金

2018年度 事業報告書

公益財団法人 トトロのふるさと基金

1. 狭山丘陵において自然環境及び歴史的景観の保存及び活用のための土地又は文化財を取得する事業

基金の主たる事業であるナショナル・トラスト活動を推進するために、寄付の呼びかけを積極的に行うとともに、狭山丘陵の土地等を取得する活動を行った。

(1) トトロの森基金への寄付

2018年度のとトロの森基金への寄付は、508件（うち葛籠入7件）、7,286,607円（うち葛籠入22,000円）が寄せられ、基金の累計は総額945,600,798円に達した。

(2) トラスト地の取得

新たに1か所のトラスト地「とトロの森49号地」を取得した。

- ・とトロの森49号地 1,208㎡ 4,750,000円 2019年3月19日取得

(3) 新たなトラスト地の取得を目指した活動

地権者等への訪問及び連絡等を行った。以下、例示。

- ・所沢市堀之内479-1の地権者宅へ訪問及び打合せ（12月5日ほか）
- ・所沢市三ヶ島一丁目693-1ほかの地権者と打合せ（12月3日ほか）
- ・所沢市北野南二丁目26-1ほかの地権者と打合せ（9月9日ほか）

(4) 土地等取得検討委員会の開催

土地等取得検討委員会は、書面による意見聴取を1回行った。

- ・2019年2月7日 所沢市堀之内479-1他1件の案件を検討

2. 取得した土地又は文化財を保存するとともに、その保存に支障のない範囲で一般の活用に供する事業及びその保存・活用のために必要な復元を行う事業

2-1 里山の管理の実践（里山部会事業）

トラスト地の適正な管理を実践するとともに、狭山丘陵の里山の管理に関して関係団体や行政との協働を進め、地元の農業者との連携を図りながら、地域住民や都市住民を主体とした里山の保全管理活動を行った。

(1) トラスト地等を活用して行う里山管理の実践

1・45号地、4号地、5号地、猪入の森（6・36号地）、北野の谷戸（7号地）、17号地、葛籠入の森（20・33号地）、38号地、39号地、芋窪の森（40・47号地）、43号地、において、毎月第一日曜日と毎月第三木曜日の定例活動日に「とトロの森で何かし隊」のメンバーによる定期的な管理作業を行った。うち、17号地は協力団体、芋窪の森（40・47号地）は地元自治会、43号地は地元学校（部活動）と合同で管理作業を行った。チカタの森（3・15・48号地）、4号地、5号地、北野の谷戸（7・11・16号地）、10号地、12号地、砂川の森（14・27・42号地）、17号地、21号地、24号地、30号地、37号地、46号地は協力団体による管理作業が行われた。その他、必要に応じてトラスト地管理作業チームが作業をおこなった。

① 「とトロの森で何かし隊」の活動

- a. とトロの森の管理作業を以下の日程で行った。

4月1日	38号地	枯木等の整理、笹刈り、常緑樹の伐採
4月19日	47号地	不法投棄ゴミ回収
5月6日	4号地	笹掘り、竹伐り、草刈り、土留め
5月17日	6号地	住宅際の草刈り
6月3日	33号地	常緑樹の伐採
6月21日	1・45号地	枯木・枝片付け、草刈り
7月1日	17号地	竹伐り、草刈
7月19日	39号地	草刈り、残渣置場づくり
9月20日	4号地	栗拾い、草刈り
10月6日	47号地	笹刈り、残渣置場づくり
10月18日	5号地	台風24号通過後の倒木片付け
11月4日	43号地	残渣置場作り、常緑樹の除伐
11月15日	7号地	竹炭用竹伐り
12月9日	17号地	草取り、竹伐り他
12月20日	20号地	枯れ枝整理、常緑樹の伐採
1月6日	47号地	笹刈り、残渣置場づくり
2月21日	38号地	倒木・落枝の片付け、笹常緑樹の刈り取り
3月21日	猪入の森	常緑樹の伐採、倒木・落枝の片付け

b. 炭焼きを1月17日(窯詰め)、1月26日(火入れ)、3月21日(窯出し)に実施した。

c. ボランティア登録説明会を4月15日、10月21日の計2回開催した。

d. 4月29日に春の交流会、3月3日に交流会(意見交換会)を行った。

e. 見まわり隊によるトラスト地の見まわりを行った。

f. 1月12日に台風で壊れた8号地の案内板の再設置作業をおこなった。また、3月末には東大和市の協力にて芋窪の森(40・47号地)に案内板が設置された。

② 協力団体によるトラスト地の管理作業

トトロの森の管理作業を以下の通り行った。

a. チカタ集いの会(3号地、15号地、48号地)4月12日ほか計9回

b. リコーボランティアグループ(4号地、5号地、24号地)4月28日ほか計7回

c. 北野の谷戸の芽会(7号地、11号地、16号地)詳細は2-2(1)参照

d. ゆめとこファーム(10号地、24号地)4月8日ほか計6回

e. 北中ネイチャークラブ(12号地、4号地)4月11日ほか計6回

f. 地域の自然を考える会(12号地、4号地)4月24日ほか計10回

g. ふらっと12(12号地)4月12日ほか計9回

h. 砂川流域ネットワーク(14号地、27号地、42号地)7月1日ほか計4回

i. 17号佐々木隊(17号地)12月9日ほか計2回

j. 耕し隊(2号地)5月6日ほか計3回

k. 30号地入間隊(30号地、46号地)4月21日ほか計11回

l. 37号地ネコバス隊(37号地、クロスケの家竹林)4月9日ほか計8回

m. 山田ファーム(21号地)1月20日ほか計4回

③ トラスト地管理作業チームによるトラスト地の管理作業

チェーンソー、刈払機等を使用した管理作業を以下の場所で、毎月6~10回、計86回行った。

2号地、チカタの森(3・15・48号地)、5号地、猪入の森(6・23・25・35号地)、北野の谷戸(7・11号地)、8号地、9号地、10号地、13号地、17号地、19号地、号地、28号地、37号地、葛籠入の森(20・21・26・33・41号地)、22号地、29号地、24号地、28号地、30号地、37号地、38号地、39号地、芋窪

の森(40・47号地)、44号地、46号地

- ④ 企業ボランティアの協力を得て、トトロの森の管理作業を以下の日程で行った。
 - 7号地 4月14日 コーセー労働組合(37名)
 - 20・21号地 10月20日 モンデリーズ・ジャパン(ハンズオン東京)(11名)
 - 7号地 12月9日 オムロン労働組合(14名)
- ⑤ 業者委託によるトラスト地の管理作業
危険木・外来種の除去等のため、業者に委託して次のような管理作業を行った。
 - 32号地 12月4～6日 電線および車道、隣地の塀に倒れる恐れのある危険木・支障木の伐採
 - 48号地 12月20・21・26・27・28日 隣地住宅に倒れる恐れのある危険木・支障木の伐採
- ⑥ トラスト地管理作業チームによるトラスト地以外の里山管理活動
良好な里山景観の保全を目的に、トラスト地以外の山林や農地の管理作業を行った。
所沢市堀之内の山林、入間市宮寺の農地、北野の谷戸

(2) 講習会

- ① 救急講習会
5月20日：野外での怪我の事故に備えて、予防法、応急処置法などを学ぶ講習会を開催した。
 - ② 新メンバー対象研修会
5月20日：新規登録者を対象に、里山管理の基礎を学ぶ講習会を開催した。
 - ③ 里山管理技術講習会
10月28日：里山管理に必要な基本的な知識と道具の取り扱い方を学ぶ講習会を開催した。
- (3) 収穫祭の実施
11月23日(勤労感謝の日) 参加者 117名、参加団体 13団体
- (4) 助成金の申請
森林ボランティア育成事業補助金を申請
国土緑化推進機構「緑の募金公募事業」へ申請
- (5) 里山部会会議の開催
里山部会会議を12回開催した。

2-2 北野の谷戸保全活動の推進(地域保全活動部会事業)

地域保全活動部会は、2010年度から始めた北野の谷戸保全活動を継続して実施した。復田した田んぼでの稲作、開墾した畑での畑作、トトロの森7号地、11号地、16号地の管理作業など、ボランティアグループ「北野の谷戸の芽会」のメンバーと地元の方々の協力を得て、北野の谷戸の里山環境保全作業に取り組んだ。また、今年度から葛籠入り湿地の保全へ向けた活動にも加わるようになった。

(1) 里山保全作業等の実施

- 4月29日(日) 北野の谷戸の芽会説明会、水苗代作り、竹林整備
- 5月3日(祝・木) 葛籠入り湿地管理作業(ヤナギの伐採)
- 5月27日(日) 代かき、タケノコ掘り、サトイモの植え付け
- 6月16日(土) 苗取り
- 6月17日(日) 田植え、新竹の伐採
- 7月1日(日) 畑や歩道の草刈り
- 7月8日(日) 水田、畑の草刈り、16号地周辺管理作業
- 8月12日(日) 畑の草刈り、16号地周辺の常緑樹の伐採
- 9月23日(日) 畑の草刈り、はざかけ作り、16号の常緑樹の伐採

- 10月7日（日） 稲刈り
- 11月3日（祝・土） 脱穀、土壌、落葉堆肥、玄米放射能測定調査
- 11月18日（日） 新米試食会
- 11月23日（金・祝） トトロのふるさと基金収穫祭
- 12月16日（日） 水田の畦の修復、常緑樹の伐採
- 1月13日（日） 落ち葉掃きと味噌作り
- 2月10日（日） 落ち葉溜め作り、ゆずの剪定・収穫
- 2月24日（日） 落ち葉掃き
- 3月10日（日） ジャガイモの植え付け

(2) 関係機関との連携協議

みどりのパートナー活動支援事業補助金を申請

(3) 部会会議の開催

地域保全活動部会を5回開催した。

2-3 クロスケの家の活用と管理

「クロスケの家マスタープラン」のスケジュールに基づき、各部会・委員会等によって事業が進められた。また、教育機関や地域の団体等の学習の場としても活用された。

(1) クロスケの家基金

2018年度のクロスケの家基金への寄付は、161件、828,493円であった。

(2) 一般公開

団体見学者の月別内訳は下表の通りであった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	5	10	11	9	5	5	10	16	5	5	0	12	93
人数	102	1774	282	79	42	74	172	373	52	61	0	207	3218

5月 所沢市みどりのふれあいウォークに協力

(3) 文化財保護関連

所沢市文化財保護課による旧和田家衣類調査への協力

(4) 蔵の活用

4月 白梅学園よりトトロをモチーフにしたジオラマの寄贈

協力団体活動紹介パネルを掲示

(5) 整備及び管理作業

①敷地内樹木管理

クロスケの家の敷地内樹木管理・越境木の伐採

3. 狭山丘陵の価値を広く伝えるための普及啓発事業及び環境教育事業

3-1 狭山丘陵の保全のための普及啓発活動

狭山丘陵の自然やそこに息づく文化などに関する情報を発信し、保全に向けた世論作りをすすめた。ナショナル・トラスト活動や里山保全に係る取材などに対して積極的に対応し、基金の活動への理解を促した。また、会員の増加に努めた。

(1) 会員の状況

2018年度末の登録会員は1,246人で、内訳は正会員921人、高校生2人、家族会員162人、賛助会員30人、こども会員120人、法人会員11社であった。前年度と比べ141人の増加であった。

(2) 会報発行等の広報活動の充実

支援者向け機関紙『トトロの森から』を会員・寄付者に向けて発行した。

第96号発行 6月29日

第97号発行 9月28日

第98号発行 1月18日

第99号発行 3月30日

(3) 狭山丘陵における体験活動の実施（詳細は、2-1 (1) ④参照）

企業や団体の協力を得てトラスト地の維持管理作業に取り組んだ。

コーセー労働組合、モンドリーズ・ジャパン（ハンズオン東京）、オムロン株式会社

(4) ホームページの更新と運営

公式ホームページでは、イベントやボランティア情報などを定期的に更新し、閲覧状況の分析を行った。また、公式フェイスブックを運用し、若年層へのPRに努めた。

(5) 一般への広報活動

・トトロの森とクロスケの家ガイドツアー 4月7日ほか計14回

講師反省会&打ち合わせを実施（6月2日、1月26日の2回）

・クロスケの家イベント（どんぐりトトロづくり）4月4日ほか計3回

・トトロの森の散策会

11月10日（東大和市雑木林の会と共催）

（10月27日かっぱの会共催分、3月16日は雨天につき中止）

・トトロの森のゴミ拾い（2月3日）

・イオン入間店、イオン所沢店でのイエローレシートキャンペーンへの参加

(6) トトロの森お散歩マップの増補改訂・増刷

(7) 狭山丘陵フェアへの参加協力

狭山丘陵フェア実行委員会への参加 2回（7月、2月）

SAYAMA HILLS DAY への「どんぐりトトロづくり」ブース出展 11月3日

3-2 里山の保全に関する環境教育の実施（環境教育部会事業）

狭山丘陵及びその周辺地域における自然環境や歴史的景観を維持・保全することの意義や大切さを広く社会に伝えることを目的として環境教育活動に取り組んだ。また、狭山丘陵の自然・歴史に関する資料集のまとめ作業、バリアフリー・プロジェクト関連行事に取り組んだ。

狭山丘陵いきものふれあいの里センターをフィールドとした取り組みと、トトロの森及びクロスケの家をフィールドとした取り組みを行った。

(1) 狭山丘陵いきものふれあいの里センター指定管理事業

2018年度の指定管理業務事業報告書（別紙）

(2) 「総合的な学習の時間」等を活用した学校での環境教育への協力

①クロスケの家において総合的な学習の時間等への協力を行った。

6月 所沢市三ヶ島小学校2年生・生活科学区探検

所沢市立小手指中学校1年生・校外学習(地域を知る)

県立芸術総合高校写真部・部活動撮影会

8月 埼玉大学 田村研究室・見学

10月 三ヶ島中学校・総合的な学習の時間

11月 早稲田大学異文化交流センター・見学

1月 サレジオ小学校・靱摺り

②いきものふれあいの里センターにおいて、年間を通して学校に協力した。

(3) 環境教育に関する講座・学習会

①年中行事の再現、地域の歴史文化に関する聞き取りを行った。

- 4月 端午の節句・鎧兜飾り
- 8月 三ヶ島の七夕(8月1日)に合わせ七夕飾り
- 9月 十五夜飾りの月見団子と焼き団子
- 12月 しめ縄飾りづくり
- 1月 小正月・繭玉飾りづくり
- 2月 お雛人形飾り

②地域の特産品を使った郷土食づくり(懐かしのおやつ再現)と聞き取りを行った。

- 5月 麦こがしづくり、大麦収穫(脱穀、天日干し、麦茶づくり)
- 6月 うどんづくり
- 9月 焼き団子
- 2月 草餅づくりについての聞き取り
芋穴(穴倉)についての聞き取り
- 3月 草餅づくり・ヨモギ摘み&下準備

(4) 三ヶ島昔話

9月18日 三ヶ島湿地とその周辺についての聞き取り

(5) その他

8月25・26日 環境教育メッセへの出展

(6) 環境教育部会会議の開催

環境教育部会会議を7回開催した。

4. 狭山丘陵における自然環境等に関する調査及び情報収集事業

4-1 里山の自然環境に関する調査・研究(調査部会事業)

狭山丘陵及びその周辺地域における自然環境の調査研究を行い、生物多様性等に係る価値の把握に努めた。また、トラスト地の適切な管理方針策定のための提言を行った。

(1) 狭山丘陵の自然環境調査の実施

- ①トラスト地とその周辺の土壌・植生調査を20回行った。
- ②三ヶ島湿地にてトウキョウサンショウウオの卵嚢数調査を1回行った。
- ③北野の谷戸の湧水の有害物質調査を実施した。

早稲田大学自然環境調査室の協力を得て、北野の谷戸の水田へ引き込んでいる湧水の有害物質調査を実施した。その結果、環境基準を上回る汚染がないことを確認した。

サンプル採取日:6月5日

分析機関:早稲田大学環境保全センター

- ④侵略的外来生物県民参加モニタリング調査に協力した。調査を6回行った。
- ⑤葛籠入湿地保全に向けた事前環境調査を1回行った。

(2) 管理方針の提言

41~48号地の調査結果をもとに管理方針案をまとめ、理事会へ提案した。

(3) 調査部会会議の開催

調査部会会議を、2回開催した。

(4) 調査報告書の発行

調査報告書第14集を発行した。発行日:2018年8月31日

4-2 狭山丘陵に関わる自然環境及び歴史的景観の保護並びにそれに関する情報収集活動

狭山丘陵の地域資源の保全に資する情報の収集をすすめ、必要に応じて関係自治体その他の団体との協議を行い、狭山丘陵保全のための活動を展開した。

(1) 関係自治体、企業等との協議

- ① さいたま緑の森博物館保全活用協議会に出席（6月10日、2月16日）
保全作業への参加（12月1日）、散策会の実施（3月16日）
 - ② 菩提樹池と周辺緑地に係る連絡会議への出席及び管理作業の実施
（6月8日、10月15日、12月7日、2月22日）
 - ③ 所沢市みどりの審議会に委員として出席（4月19日、5月24日、7月5日、8月31日、10月18日、2月6日）
 - ④ 都立野山北・六道山公園管理運営協議会への出席（5月27日、3月2日）
 - ⑤ 狭山公園生物多様性保全利用計画検討会への出席（11月8日）
 - ⑥ 狭山3公園管理運営協議会への出席（7月7日）
 - ⑦ 狭山丘陵広域連絡会への出席（3月12日）
- (2) 三ヶ島二丁目墓地開発計画に対する取り組み
- ① 葛籠入湿地保全作業（5月3日、10月26日）
 - ② 葛籠入湿地蛍観察会（7月14日）
 - ③ 行政へのはたらきかけ
所沢市との情報交換（5月11日、6月26日、7月27日）
- (3) 早稲田大学オリンピック招致に伴う陸上競技場照明問題に対する取り組み
- ① 所沢市・早稲田大学他5者協議打ち合わせ（7月26日、10月30日）
 - ② 葛籠入湿地照度調査（7月11日、10月23日）
 - ③ イタリアオリンピック委員会へ要望書提出

5. 葛籠入トラスト保全活動

所沢市三ヶ島二丁目地域の葛籠入保全を目的とするトラスト活動への寄付金 37,797,452 円（以下「葛籠入保全寄付金」という）は、所沢市が行う所沢市三ヶ島二丁目 538 番 1 ほか 13 筆の土地の公有地化資金 135,000,000 円の一部として、2019 年 3 月 15 日に所沢市へ寄付を行っている。

本件についての経緯は以下の通りである。

- 2016 年 7 月 13 日 葛籠入保全寄付金の受付を開始した。
- 2018 年 7 月 31 日 葛籠入保全寄付金の受付を終了し、寄付金総額は 37,797,452 円（615 件）となった。
- 2018 年 8 月 1 日 葛籠入保全寄付金の寄付者に、所沢市への寄付について意見を募集したが、意見はなかった。
- 2019 年 2 月 7 日 所沢市と葛籠入保全寄付金についての贈与契約を締結した。
- 2019 年 3 月 5 日 所沢市議会で本件土地の公有地化取得の議案が議決し、土地取得契約が成立した。
- 2019 年 3 月 15 日 所沢市へ葛籠入保全寄付金総額 37,797,452 円（615 件）を寄付した。
- 2019 年 3 月 19 日 所沢市と「トトロの森・葛籠入湿地水源地」保全管理に関する覚書を締結した。

6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

公益財団法人としての適切な運営のために、理事会、評議員会を開催した。また、執行部会議等を開催して的確で迅速な意思決定を行うとともに、財政等に係る課題の検討を進めた。

トトロのふるさと基金運動の四半世紀に及ぶ活動記録を集大成した刊行物（トトロのふるさと基金発足 30 周年記念誌）の取りまとめの準備を行った。また、トラスト地の拡大や基金をとりまく環

境の変化に伴い生じている様々な課題に対処するための長期構想(2020~2030年)の検討を行った。ナショナル・トラスト活動や里山保全を進める関係団体からの照会・相談等への対応を行ったほか、様々なメディアからの取材等への対応、丘陵案内やシンポジウムへの参加などを実施した。その他、各事業の推進に必要な資金の一部をまかなうために、収益事業を行った。

(1) 理事会及び評議員会の開催

理事会：通常理事会2回(5月20日、3月17日)

臨時理事会2回(6月24日、11月4日)

評議員会：定時評議員会1回(6月24日)

(2) 執行部会議の開催(8回)

5月15日、7月17日、8月21日、9月28日、11月18日、12月10日、1月27日、3月15日

(3) 常任理事会の開催(毎月1回、計12回)

(4) トトロのふるさと基金長期構想(2020~2030年)の検討

トラスト地の拡大や基金をとりまく環境の変化に伴い生じている様々な課題に対処するための長期構想検討ワーキンググループを立ち上げ、検討会を6回開催した

10月14日、11月18日、12月16日、1月27日、2月24日、3月24日

(5) トトロのふるさと基金発足30周年記念誌発行準備

トトロのふるさと基金の運動の四半世紀に及ぶ活動記録を集大成した刊行物の取りまとめの準備を行った

① 合同出版株式会社との記念誌出版の打ち合わせ(9月21日、12月14日)

② 基金関係者等への執筆依頼

(6) 照会、相談等への対応及び活動広報等

基金の活動紹介と狭山丘陵の案内等を行った。

① 講演

4月 学芸大学

7月 山口小学校

9月 所沢高校

10月 語り部養成講座「ところ学」

11月 ジブリ美術館、和光市セミナー、東洋大学

12月 こがねい環境フォーラム、日本ナショナル・トラスト協会全国大会

1月 カタクリ群落の下刈と落葉掃き

② 取材等への対応

4月(月刊社会教育)、5月(全国各種団体名鑑)、(所沢市市民部芸術振興課)、6月(関東地方環境パートナーシップオフィス「環境ボランティア・なび」)、6月~7月(朝日新聞「みちものがたり」)、8月(中京テレビ)、(宇都宮大学農学部卒業論文調査)、9月~11月(埼玉大学教育学部コラボレーション教育専修卒業論文)、9月(NEXTEP NHKBS[ふらっとあの街 旅ラン10キロ])、(デアンドデパートメント(株) d design travel 岩手)、11月(西武鉄道株式会社)、(日本大学芸術学部放送学科)、12月(埼玉大学教育学部小学校コース卒業論文)、(まっふる埼玉)、3月(毎日新聞)

③ 教材等への写真等の提供

株式会社光文書院「小学校社会科資料集5年」、株式会社日本入試センター「サピックス eco クラブ5年」

④ 丘陵案内

4月(学芸大学)、9月(百目鬼川の会)、10月(カモミール)、11月(ジブリ美術館)、(川越市中央公民館)、(語り部養成講座「ところ学」)、12月(韓国ナショナルトラスト協会)、3

月（さいたま緑の森博物館保全活用協議会）ほか。

(7) 収益事業の実施

トトロファングッズ等の企画・製作・販売や出版物の販売等を行った。

- ① 収益事業検討会の開催（5回）
- ② 10月・3月 ベネリックトレイン事業部へのヒアリングおよび商品提案を行った。
- ③ 1月24日ベネリック店舗（立川立飛店、東京駅店、ヴィーナスフォートお台場店、池袋店）訪問、ヒアリングを行った。
- ④ イベント等でのグッズ販売、外部委託販売
 - 5月 所沢市みどりのふれあいウォーク（クロスケの家にてグッズ販売）
 - 8月 環境教育メッセ
 - 11月 山口公民館
 - 12月 小金井環境学習館
- ⑤ 2018年度新商品
 - ステッカー（ふろしきトトロ、メイとおうち・四角、メイ・丸）、
 - レターセット（トトロ）、トトロシール
- ⑥ オンラインショップ TOTORO FUND SHOP の更新・運用を行った。

以上

平成30年度
埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター
指定管理業務に係る事業報告書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター
指定管理者 公益財団法人 トトロのふるさと基金

(様式 1)

平成 30 年 度 事 業 報 告 書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

1 管理業務の実施状況

「狭山丘陵の自然を通して自然について学習する機会を設け、県民の自然との触れ合いを推進し、自然保護思想の普及を図る」という設置目的を達成するため、里山の生き物をテーマに様々なイベントの提供や企業との連携、展示の充実を図った。情報発信に関しては、英語版パンフレットやチラシやポスターの充実、フェイスブックなどを活用し、魅力ある情報の提供に努めた。また、センターエリアや各管理地では、ボランティアの協力を得て、園路や林内整備に取り組んだ。県民の自然ふれあいの場として、来園者が安全で快適に過ごせるよう随時管理地を巡回し、事故の未然防止に努めた。

なお、平成 30 年度においては、下記の事項について特に配慮した管理を行った。

① 25 周年関連企画

25 周年関連イベントを実施したことによって、利用者はもとよりボランティアや地域関係者との結びつきが深まった。特に、いきふれ開館記念祭では大型トロ展示を行い来訪者から反響を頂いた。(表 1)

表 1 (新規)25 周年開館記念関連イベント 実施状況

イベント名	実施日	参加者	実施内容
いきふれ開館記念祭	11/11(日)	461 名	地域とのつながりと感謝をキーワードに、ボランティアや地域の関係団体に協力を募り、園児の合唱会や工作会、小学校との環境教育の取り組み展、大型トロなどを展示した。
25 周年記念ウォーキング 落ち葉舞う狭山丘陵を歩こう	12/9(日)	33 名 ※悪天候	狭山丘陵に親しみや興味を持ってもらうため、西武園駅から管理地を通り、センターまでの約 7km をコースに設定し実施した。
ようこそ!藪内正幸原画展	12/9(日) ～ 12/20(日)	-	狭山丘陵の動物をテーマに、動物画家藪内氏の原画展を実施。

② 広報、情報発信の充実

- ・外国語の対応(新規)
- ・英語版パンフレットの作成(新規)
- ・所沢市広報課との元旦号の紙面作り(新規)
- ・チラシやポスターの作成(充実)
- ・広報誌の配布先の拡大(充実)

(1) 自然観察会等の実施

① イベント実施状況

イベント名	内 容	参加人数	回数
【新規】 25周年記念企画	いきふれ開館記念祭や紅葉を楽しみながら歩くウォーキングを行った。	494	2
【継続】 狭山丘陵自然観察会	狭山丘陵への理解を深めるために、一部、専門家を招いて観察会を行った。	140	8
【継続】 里山体験講座	昔の里山の暮らしや年中行事等の地域の文化・習俗を体験する講座を行った。	144	7
【継続】 ひよこ探検隊	未就学児童と保護者を対象にした入門的な観察会を行った。	67	3
【継続】 狭山丘陵出前センター	文化祭やお祭などに出張して狭山丘陵に関する展示を行った。	5,055	8
【継続】 地域公共施設との連携イベント	地域の図書館や公民館と、イベントを共催して行った。	1,430	7
【継続】 基礎から学ぶ植物画講座	草花を画用紙に再現することで、植物の生態への理解を深める講座を行った。	149	13
【継続】 植物画講座中級編	基礎から学ぶ植物講座の中級編講座を行った。	201	13
【継続】 ガイドウォーク	申込なしで参加出来る観察会を行った。	315	26
【継続】 ゴールデンウィークスライドショー	狭山丘陵の地理や見どころを紹介した。	16	2
【継続】 環境教育活動の支援	教育機関からの依頼を応じ、環境教育活動への協力や支援を行った。	3,537	41
【継続】 狭山丘陵出前講座	団体からの依頼に応じ、随時講座を行った。	406	11
【継続】 企業や行政との連携イベント	企業からの依頼に応じ、イベントを行った。	2,987	3
【継続】 狭山丘陵ミニトーク	団対来訪者からの依頼に応じ、パワーポイントや動画を使って解説を行った。	100	4
【継続】 いきふれボランティア募集・養成講座	ボランティア募集の説明会と養成講座を実施。	15	3

※延べ：151回 15,056名 天候不順のため3回中止

②自然観察会等のイベントの実施

今年度は、いきものふれあいの里センター開館 25 周年を記念して『いきふれ開館記念祭』や『記念ウォーキング』を実施した。

また、定例のイベントとして『狭山丘陵自然観察会』、『里山体験講座』、『ひよこ探検隊』、『狭山丘陵出前センター』、『地域公共施設との連携イベント』、『基礎から学ぶ植物画講座』、『植物画講座中級編』、『ガイドウォーク』、『ゴールデンウィークスライドショー』、『環境教育活動の支援』、『狭山丘陵出前講座』、『企業との連携イベント』、『狭山丘陵ミニトーク』などを実施した。

イベント実施状況は P2①のとおりであり、詳細を資料(様式 5)にまとめた。

③団体利用者への自然解説ならびに環境教育支援の実施

幼稚園や保育園、小学校、中学校、高校、大学、一般団体などの利用及び施設見学者に対し、センターエリアのガイドやレクチャーなどを行った。特に、小中学校や高校、大学へはプログラムの提供や職員の派遣を行った。小中学校や大学への環境教育支援については、表 2 のとおりであり、詳細を参考資料 1 にまとめた。

表 2 団体利用対応受入状況

区 分	幼稚園 保育園	小学校 中学校	高 校 大学等	一 般	合 計
利用回数	45 回	36 回	5 回	107 回	193 回
利用者数	1,130 名	3,419 名	118 名	11,940 名	16,607 名

④インターンシップの受け入れ

環境教育に必要な実践能力を有する人材の育成ためインターン生を受け入れた。活動内容として、イベントの補助や館内解説や展示物作成、Facebook を使った情報発信などを行った。(表 3)

表 3 インターン生受け入れ実施状況

学 校 名	受け入れ期間	人 数
所沢市立南陵中学校	11/15、11/16	4 名
埼玉大学教育学部	5/12～3/10	3 名

(2) 展示、解説について

①展示について

25 周年を記念して『ようこそ! 薮内正幸原画展』を実施した。また、狭山丘陵の魅力を発信するために『狭山丘陵春の植物画』や『狭山丘陵の野鳥展』など季節に応じた展示を計 7 回、映像装置を活用した展示を 3 回行った。

また、旬の自然情報の提供に努め、野外掲示板では 24 回、写真で紹介する自然は 12 回展示を更新した。

地域公共施設との連携イベントの一環として、所沢図書館吾妻分館 6 回、所沢図書館富岡分館でも 2 回展示を行った。詳細を参考資料 2 にまとめた。

②館内解説の充実

常に来館者との円滑なコミュニケーションを心がけ、来館者それぞれのニーズに合った自然情報の説明や地図の提供等を行った。また、海外の来訪者にも積極的に声掛けを行い、英語版パンフレットを使っての解説を行った。※利用者への情報提供人数:3,133人

(3) 広報活動

①情報発信

彩の国だよりや市報、雑誌やミニコミ誌等にイベントや自然情報の提供を行った。また、FM 茶笛(コミュニティーFM)に、毎月出演し情報発信に努めた。

印刷物では、英語版の施設パンフレットやイベントチラシ等を作成し、広く周知を図った。マスコミへの出演、掲載実績、イベントチラシ作成等の実施は以下の表のとおりである。

表 4-1 マスコミへの出演

種別	番組名	回数	内 容
ラジオ	FM 茶笛(77.7MHz) とれたてラジオ 花と緑の時間	13 回	毎月第二木曜日センターの自然情報や見所案内、イベント情報を放送。10月に2回出演。
テレビ	J:COM テレビ 所沢ニュース	6 回	『お茶摘みとお茶作りに挑戦!』、『シュロでミニ箒作り』、『開館記念祭』、『作ろう!小正月にまゆ玉飾り』、『職員インタビュー』、『ひよこ探検隊冬の野原で遊ぼう』。
	TBS サンデーモーニング	1回	スポット2のオタマジャクシ等紹介。

※延べ 出演回数:20 回

表 4-2 新聞や各種情報紙への掲載実績

冊 子	発行地域	形態	発行団体	掲載回数
西埼玉ぱど	西埼玉	冊子	株式会社西埼玉ぱど	13 回
広報ところざわ	所沢市	市報	所沢市	12 回
彩の国だより	埼玉県	県報	埼玉県	6 回
ショッパー所沢	所沢市	雑誌	株式会社ショッパー社	2 回
所沢市民新聞	所沢市	新聞	読売新聞	1 回
東京新聞	埼玉版	新聞	中日新聞社	1 回
産経新聞	埼玉版	新聞	産業経済新聞社	1 回
埼玉新聞	埼玉県	新聞	埼玉新聞社	1 回
こどもとおでかけ 365 日	全国	雑誌	ぴあ株式会社	1 回
るるぶ埼玉	全国	雑誌	JTB パリッシャング	1 回
まっぷる埼玉	全国	雑誌	株式会社 昭文社	1 回
子どもとおでかけ 埼玉	全国	雑誌	メイツ出版株式会社	1 回

※延べ 掲載回数:41 回

表 4-3 マスコミ等への情報提供

マスコミ紙	回数	内 容
西埼玉ぱど	12 回	イベント募集のお知らせ
TBS サンデーモーニング	5 回	狭山丘陵の自然情報
所沢記者クラブ	4 回	25 周年イベントやサンコウチョウ剥製について
所沢市報元旦特別号	1 回	初の試みとして、所沢市広報課と丘陵散策に関する紙面を作成。下見やコース選定。紙面データ作りなどを一部担当。

※延べ 22 回

表 4-4 イベントポスター・チラシの作成実績

区分	ポスター・チラシ	内 容
新規	開館記念祭チラシ (A4) 開館記念ポスター (B2) 藪内正幸原画展 (A4) ウォーキングチラシ (A4) 年間観察会チラシ (A5)	初めての取り組みとして、イベント単体のチラシを作成し周知を図った。また、自然観察会の年間計画を配布し、参加者が予定を組み易くする工夫をした。
継続	イベント告知ポスター (A2) 夏休みイベントチラシ (A5)	夏休みイベントチラシは周辺の小学校を中心に配布した。

② 広報紙等の発行と配布

カラー版「いきふれ通信」を年4回計16,000部発行し、所沢市内全ての小学校と図書館、埼玉県内の博物館、首都圏の関連自然施設等98箇所に昨年度(78箇所)より拡大し配布した。

③ ホームページの運営

イベントや取り組みを広く周知するため、ホームページの運営を行い。自然情報等の更新を103回行った。また、Facebook を使って112回発信した。ホームページの閲覧状況は表5のとおりである。

システムの脆弱性の対応や安全性の確保のため、サイト情報を暗号化する処置を行った。さらに、基本ソフトの定期更新や更新履歴の管理などに努めた。

表 5 ホームページへの閲覧状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間閲覧数	2,752	2,807	2,664	2,602	2,145	1,471	1,409	1,561	1,268	1,370	1,328	1,460

※累計 22,837 回

(4) 関係団体との協働

① 埼玉県狭山丘陵いきふれの会

ボランティアの募集説明会や養成講座を開催し、登録者は19名となった。センター管理地の各スポットエリアを中心に、年間を通して定期的な巡回・環境整備や自然情報の収集に協力頂いた。活動状況は表6のとおりであり、詳細を参考資料3にまとめた。

表 6 ボランティアとの活動実施状況

主な活動分野	実施回数	参加者	主な内容
巡回・情報収集	17回	32名	各スポットの巡回や自然情報の収集
行事・講座補助	18回	43名	開館記念祭や自然観察会など
里山管理作業	10回	34名	草刈や泥だし、落ち葉掃きなど
研修会	1回	5名	国立自然教育園にて実施。

※その他(全体会議、その他)11回 67名 延べ活動数:57回 延べ人数:181名

②「堅香子の会」や「ふれ炭会」との協力

- ・両団体より開館記念祭開催の協力を頂いた。
- ・堅香子の会より、植物画講座への講師派遣や植物画の原画借用協力を頂いた。
- ・ふれ炭会とは炭焼き体験に関する学生団体の受け入れや管理地の維持管理協力、間伐材の有効利用などに協力頂いた。

③地域の企業や市町村、自然ふれあい施設等との連携

埼玉県立所沢高等学校や入間市博物館へ講師派遣の依頼を行った。

所沢市や西武鉄道株式会社から依頼を受け、イベントに協力した。

また、狭山丘陵観光連携事業作業部会(運営:武蔵村山市、東村山市、東大和市、瑞穂町、所沢市、入間市、西武・狭山丘陵パートナーズ)よりオブザーバーとして参加依頼を受け、情報の提供と企画の提案を行った。

埼玉大学工学部環境共生学科とは、スポット5をフィールドとする演習に協力した。また、さいたま緑の森博物館と『狭山丘陵を知るスタンプラリー』を実施した。さらに、狭山丘陵広域連絡会や狭山丘陵フェア実行委員会に加わり、緑地管理の情報交換を行った。地元企業や市町村との連携は表7のとおりである。

表 7 地元企業や市町村との連携

団体名	イベント名	実施日	参加者	内 容
西武鉄道株式会社	所沢エンジョイハイキング	11/14(水)	1,075名	パネル展示を行い、自然情報と解説を実施。
		2/6(水)	285名	
所沢市	所沢市みどりのふれあいウオーク	5/19(土)	1,627名	ブース展示を行い、自然情報と解説を実施。
所沢市	所沢市環境展	6/20(水)	687名	所沢市役所にて植物画を展示し解説を実施。
		6/21(木)		

(5) 運営協議会の開催

センターの円滑な管理運営を推進し、施設の有効活用を図るために、埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター運営協議会を2回開催した。(11月、3月)

- ・協議会委員 学識経験者、地域団体及びセンターボランティア団体の代表者、地元学校長等 計9名
- ・協議事項 事業実施状況、自主事業へのアドバイス、管理運営の方向性等について

(6) 施設の維持管理

①保守点検業務

施設の維持管理(夜間警備や空調設備、消防設備の保守点検、施設の清掃)については、それぞれの専門業者に委託することにより適正な管理を行った。その他、節電への対応として、間引き照明、暖房機器使用の抑制などを実施した。

②地震や火災などの対策

緊急時連絡網や緊急時の対応マニュアルの見直しと、消防署や地元自治会と情報交換を行った。

③園地管理

職員が日常的に管理地内を巡回し、安全上の課題確認や園路の軽微な修繕を行った。特に施設通路柵の破損発見後は、警察や機械警備会社と連携し巡回を強化するなどの対応をとった。また、ボランティア(いきふれの会)と共にスポットエリアの維持管理に努めた。

園路、草地などの定期的な草刈りや植栽木の剪定、茶畑の剪定、樹木の伐採(緊急性の高い危険木)、木柵の交換などを行った。主な実績は表 8 のとおりである。また、枯損木や台風による倒木の情報など、関係機関との連絡を密にし、事故の未然防止に努めた。

表 8 主な取り組み内容

項目	数量	内容
木柵(杭と柵)	55ヶ所	破損箇所を交換。
センターエリア指導標	23枚	防錆加工と盤面再彫刻ペイント修理。
合成ベンチ座板	2ヶ所	SP1のベンチ破損箇所を修理。
バルコニー手すり	1箇所	施設バルコニー手すり腐食部を修理。
施設案内看板	1基	駐車場から施設への案内看板を新規設置。

(7) 災害時等の緊急時の対応

大型の台風接近の際は、施設玄関付近への土嚢の設置や園路上空の掛かり枝の除去などを実施した。また、緊急対応に備え、連絡網の確認やチェンソーなどの備品の用意を行った。台風通過後は、速やかに施設と管理地を巡回し安全確保と情報の収集に努めた。倒木などの情報は、ホームページを通じて周知を図った。

(8) その他の自主事業

①頒布物について

狭山丘陵の自然の素晴らしさを伝えるため、「狭山丘陵いきものふれあいの里の植物図鑑」や「植物画ハガキ」、「植物画一筆箋」、「シダ植物ポケット図鑑」、「野鳥ハンドブック」の頒布などを行った。

②萌芽更新地の調査

身近なみどり保全創出事業にて所沢市が実施したセンターエリアの萌芽更新地区の植生調査を7回行い、148種(草本61種、木本87種)を記録した。結果を管理作業の参考にするために、所沢市みどり自然課へ報告を行った。大きな傾向として、昨年度に比べ、樹木種数の変動は小さくなり、草地から樹林地になりつつあることが分った。

2 施設の利用状況

① 利用者別利用状況

区分	大人			小人(中学生以下)			合計
	一般	団体	計	一般	団体	計	
入館者数	9,727	11,090	20,817	2,759	7,037	9,796	30,613

② 施設有料利用状況(利用施設区分別)

区分	講義室	展示室
利用件数	6件	0件
利用者数	115人	0人

平成30年度事業報告の附属明細書

平成30年度事業報告に「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないので、事業報告の附属明細書は作成していない。

令和元年5月7日

公益財団法人トトロのふるさと基金